

研究機関：広島大学

研究課題名	食道がんに対する強度変調放射線治療と画像誘導技術を用いた高精度放射線治療体系の構築
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科放射線腫瘍学 教授 永田 靖
研究期間	平成 29 年 8 月 22 日(倫理委員会承認後)～平成 33 年 3 月
対象者	2010 年 4 月～2014 年 3 月の間に、広島大学病院放射線治療科で食道がんに対する放射線治療を受けられた患者。
意義・目的	早期食道がんに対する放射線治療は有用であり、長期生存例も増加しています。一方で、晩期有害事象である心肺有害事象による生存率低下も示唆されており、心臓への照射線量の低減が必要です。我々は①照射野を出来るだけ縮小させること、②高精度放射線治療技術を応用することで心臓への照射線量低減を達成しようと考えています。そのためには①自由呼吸下や呼気息止め下での食道の移動距離を正確に把握すること、②治療計画装置上でシミュレーションを行い、最適な線量分布を導くビーム方向などを検討する必要があると考えています。これら 2 つの項目を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、治療計画 CT データ、腫瘍の TNM 分類および腫瘍の位置、併存疾患、放射線治療時の併用化学療法内容です。また、治療計画用 CT を用いて、腫瘍や正常臓器の輪郭情報および線量分布を使用します。いずれにおいても個人を特定可能な情報は解析に用いません。
共同研究機関	特にありません。
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-1545 広島大学大学院医歯薬保健学研究科放射線腫瘍学 教授 永田 靖 (資料および情報の管理責任者)